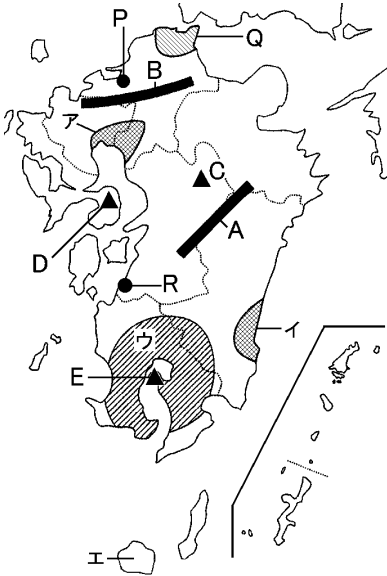


得点	演習問題	実施日	月 日	氏名

【1】下の地図を見て、次の問いに答えなさい。

〔地図1〕



〔地図2〕



(1) 〔地図1〕の A・B の山地、D・E の火山をそれぞれ何といますか。

A () B ()
D () E ()

(2) 〔地図1〕の▲C で示した火山の噴火では火山灰や溶岩がふき出したあとの大きなくぼ地が見られる。このくぼ地を何といますか。また、この火山名を答えなさい。

くぼ地() 火山名()

(3) 〔地図1〕のア・イの平野をそれぞれ何といますか。また、それぞれの平野での農業の特色にあてはまるものを、次の①～④から1つ選び番号で答えなさい。

ア() 平野) イ() 平野)

- ① 九州を代表する稲作地域である。
- ② 山がちなため、棚田で稲作を行っている。
- ③ きゅうりやピーマンなどの促成栽培を行っている。
- ④ 畑作や畜産がさかんである。

(4) 〔地図1〕ウの地域には、火山活動にともなう噴出物が長い年月積み重なってできた地層が広がっている。その地層を何といますか。

()

(5) 〔地図1〕のエの島は世界遺産条約の自然遺産に登録されている。この島の名称を答えなさい。

()

(6) 〔地図1〕の P で示した都市は九州地方の政治・経済の中心です。この都市名を答えなさい。

()

(7) 都市部だけが特に気温が上昇する現象を防ぐため P の都市では右の写真のように緑化されたビルが多く見られる。この大都市特有の現象を何といますか。

()



(8) 〔地図1〕の Q で示した地域について次の問いに答えなさい。

① 20 世紀初めに Q の地域に建設された、日本初の本格的な製鉄所を何といますか。

()

② Q の地域に発達した工業地帯を何といますか。

() 工業地帯)

③ Q の工業地帯は、1960 年代以降にエネルギー源が石炭から石油にかわる [] が進むとともに、鉄鋼の生産量が減り、地位も低下した。 [] にあてはまる語句を答えなさい。

()

(9) 〔地図1〕の R は 1960 年代に有機水銀が原因となった公害が発生した都市である。この都市名を答えなさい。

()

(10) 沖縄県の県庁所在地「那覇市」は〔地図2〕の A～C のどれですか。記号で答えなさい。

()

(11) 〔地図2〕P の地域には何が分布していますか。

()

(12) 〔地図2〕Q の地域ではある農作物の栽培が盛んです。この農作物を答えなさい。

()

(13) 沖縄県には、温かくきれいな海水により発達した [] が多く見られ、波から島を守るとともに、観光資源としても重要である。 [] にあてはまる語句を答えなさい。

()

(14) 右の写真は、沖縄県の伝統的な家である。このような家がつくられている理由を簡単に答えなさい。

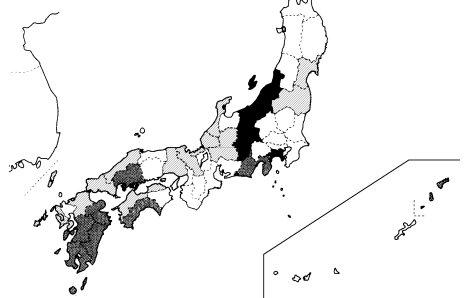


[]

【2】右の地図は土砂災害の県別発生件数を表している。これについて、次の問いに答えなさい。

〔1997年～2006年の合計〕

- 600 件以上
- 400～600 件未満
- 200～400 件未満
- 200 件未満



(1) 地図から読みとれることとしてあやまっているものを、次のア～エから1つ選びなさい。

()

- ア 土砂災害の発生件数に地域的なかたよりはない。
- イ 中部地方の発生件数がとくに多い。
- ウ 関東内陸部の発生件数は少ない。
- エ 九州・南四国の太平洋側で発生件数が多い。

(2) 土砂災害がおこるおもな原因にあてはまらないものを、次のア～エから1つ選びなさい。

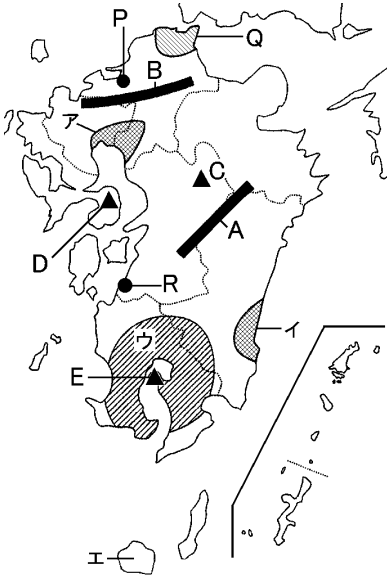
()

- ア 水がしみこみやすい地層である。
- イ 梅雨や台風の影響が強い。
- ウ 手入れのいきとどいていない森林が多い。
- エ 人口の密集地である。

得点	演習問題〔解答〕	実施日	月 日	氏名

【1】下の地図を見て、次の問いに答えなさい。

〔地図1〕



〔地図2〕



(1) 〔地図1〕の A・B の山地、D・E の火山をそれぞれ何といますか。

- A (九州山地) B(筑紫山地)
D (普賢岳) E(桜島)

(2) 〔地図1〕の▲C で示した火山の噴火では火山灰や溶岩がふき出したあとの大きなくぼ地が見られる。このくぼ地を何といますか。また、この火山名を答えなさい。

くぼ地(カルデラ) 火山名(阿蘇山)

(3) 〔地図1〕のア・イの平野をそれぞれ何といますか。また、それぞれの平野での農業の特色にあてはまるものを、次の①～④から1つ選び番号で答えなさい。

ア(筑紫平野 ①) イ(宮崎平野 ③)

- ① 九州を代表する稲作地域である。
- ② 山がちなため、棚田で稲作を行っている。
- ③ きゅうりやピーマンなどの促成栽培を行っている。
- ④ 畑作や畜産がさかんである。

(4) 〔地図1〕ウの地域には、火山活動にともなう噴出物が長い年月積み重なってできた地層が広がっている。その地層を何といますか。

(シラス)

(5) 〔地図1〕のエの島は世界遺産条約の自然遺産に登録されている。この島の名称を答えなさい。

(屋久島)

(6) 〔地図1〕の P で示した都市は九州地方の政治・経済の中心です。この都市名を答えなさい。

(福岡市)

(7) 都市部だけが特に気温が上昇する現象を防ぐため P の都市では右の写真のように緑化されたビルが多く見られる。この大都市特有の現象を何といますか。

(ヒートアイランド現象)



(8) 〔地図1〕の Q で示した地域について次の問いに答えなさい。

① 20世紀初めに Q の地域に建設された、日本初の本格的な製鉄所を何といますか。

(八幡製鉄所)

② Q の地域に発達した工業地帯を何といますか。

(北九州工業地帯)

③ Q の工業地帯は、1960年代以降にエネルギー源が石炭から石油にかわる[]が進むとともに、鉄鋼の生産量が減り、地位も低下した。[]にあてはまる語句を答えなさい。

(エネルギー革命)

(9) 〔地図1〕の R は 1960年代に有機水銀が原因となった公害が発生した都市である。この都市名を答えなさい。

(水俣市)

(10) 沖縄県の県庁所在地「那覇市」は〔地図2〕の A～C のどれですか。記号で答えなさい。

(C)

(11) 〔地図2〕P の地域には何が分布していますか。

(米軍基地)

(12) 〔地図2〕Q の地域ではある農作物の栽培が盛んです。この農作物を答えなさい。

(さとうきび)

(13) 沖縄県には、温かくきれいな海水により発達した[]が多く見られ、波から島を守るとともに、観光資源としても重要である。[]にあてはまる語句を答えなさい。

(さんごしょう)

(14) 右の写真は、沖縄県の伝統的な家である。このような家がつくられている理由を簡単に答えなさい。

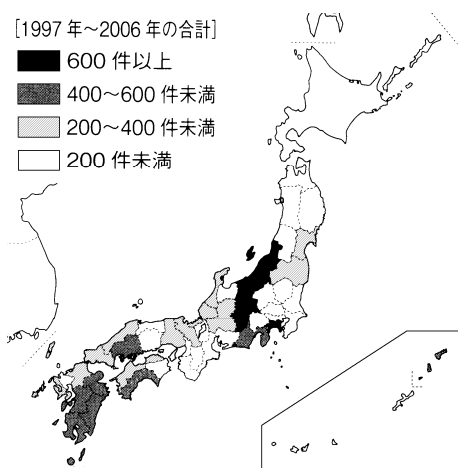


〔台風による害を防ぐため〕

【2】右の地図は土砂災害の県別発生件数を表している。これについて、次の問いに答えなさい。

〔1997年～2006年の合計〕

- 600件以上
- 400～600件未満
- 200～400件未満
- 200件未満



(1) 地図から読みとれることとしてあやまっているものを、次のア～エから1つ選びなさい。

(ア)

- ア 土砂災害の発生件数に地域的なかたよりはない。
- イ 中部地方の発生件数がとくに多い。
- ウ 関東内陸部の発生件数は少ない。
- エ 九州・南四国の太平洋側で発生件数が多い。

(2) 土砂災害がおこるおもな原因にあてはまらないものを、次のア～エから1つ選びなさい。

(エ)

- ア 水がしみこみやすい地層である。
- イ 梅雨や台風の影響が強い。
- ウ 手入れのいきとどいていない森林が多い。
- エ 人口の密集地である。